

ごとう通信

第 78 号

平成 19 年 6 月 1 日

五月は結構爽やかな日が続きましたが、気温の高低差が大きかったですね。ある日は半袖、日焼け止めクリーム、サングラスのフル装備だったかと思うと翌日は長袖に戻ったり。このような高低差が激しいのが今年の気候の特徴のようです。意外と体調管理が難しいので気をつけてくださいね。

気候のせいというわけではないかもしれませんが、大学生の中で「はしか」が大流行だったようです。いったいなぜでしょう。上智や早稲田などの大規模学校から僕の母校のような本当に小さな学校まで流行ったそうです。たしかに若い世代の特徴的な

病気ではありませんが、予防接種などの効果で激減していると聞いていたので本当に驚きました。しかも大学が一番発症しているなんて少し違和感があります。

特に関東だけで流行ったということを知ると……誰か犯人(感染源)がいて、その人の交遊範囲に合わせて発症したのかな?なんて思ってしまう。いずれにしろ早く収束してよかったですね。

テレビのこと

四月、五月と偶然にもテレビに取り上げられることがあり、いろいろな反響を頂いてうれしく思っています。もちろん、春に出版した小説「愛は自転車に乗って」の宣伝効果だったことは間違いありません。訪問菌

科診療はまだまだマイナーな分野ですが、もっと社会に貢献できると思っている僕にとって、このような取り上げ方をされるのも一つの方法かと割り切っています。

ただ、取材というのはやっぱり難しいですね。僕たちは訪問する立場なので、できるだけご家庭の空気を乱すまいと考えてやってきましたし、そのために少人数で動いてきました。しかし、取材スタッフはカメラや音声、ディレクターまでいます。ただならぬ雰囲気にもいつもと違う空気が流れてしまいました。もちろん、ディレクターは僕と話しているのでそこそこ分かっていたかもしれませんが、家の中のものを勝手に動かす音声スタッフや人の時間も気にしないカメラマンなど……ご協力頂いた方には本当にご迷惑をおかけしました。まあ、